

F C S 中学生コース 通常授業【元年シーズンv8.4】 要項一覧

- ※中学内容（高校受験）を毎週１回、月計４回授業。
- ※一講座（一科目）から受講可。
- ※形式は予習塾（中学内容の速習）で少人数集団授業（大学院のゼミ形式）。試験前は復習。学年はなく（小学生の参加も妨げません）、生徒が学びたいだけ、先に解き進める画期的な講座。
- ※英語は指導要領改訂に伴い、四技能英語対応のＳコース（教材はプログレスです。国語力があれば小学生も参加可）。
- ※数学は学校で配布された「Ａクラス（久留米附設）」「高校への数学（久留米附設）」「体系数学（大濠・早稲田佐賀）」をそのまま使用。だから無駄がありません（公立中・付属中組はウィニングプラス）。中高一貫生は中２二月から高校数学予習講座→高校数学Ｒコースに昇格します。
- ※理科は８力年分の入試問題（公立・久留米附設）をベースに教えるＪコース理科と中高ボーダレスのＲコース物理、Ｒコース化学が開講。

Jコース 数学

- Ｊコース数学要項
- ◆学年に関係なく中学数学を速習できる画期的講座
 - Ｒコースに転塾して来た修猷館高校１年生が「これ去年習いました。でも『そうなるから』で、どうしてそうなるかを今日初めて知りました」と答えました。
 - 多くの塾、塾教材は未だ新課程数学に対応できてないのでしょうか。脱ゆとり教育で中学数学と高校数学の境界は小さくなりました（幾何・データ・整数・確率）。
 - F C Sは元々修猷館高校等現役高校生対象の予習塾です。だから、高校数学に全対応できる講師陣が標準。その彼らが中学数学を教えています。
 - F C Sの特長は「学年のない」指導です（中１でも中２３、高校の数学が学べます）。全国の「速習」塾の先駆けにもなっています（塾関係者、学校関係者からの問い合わせ、視察もあり、類似する塾が全国にできています）。
 - ただ「F C Sのやり方を導入したら、子ども達は面白いように先取りができる。でも、そのあとが心配だ。『速習』が終わった後は（我々は）どうしよう？」
 - 福岡にも「速習」を行う塾があるようですが続きません。それは先の証言のように「技量（人材）不足」です。
 - 修猷、附設生に教える事ができる先生（スキルの高い人材）を使って、中学数学を「速習」してみませんか？
 - 会場●F C S 藤崎本館／詳細●時間割他、HPへ
 - ◆復習を希望する方は定期考査前に行います。久留米附設中生が購読する「高校への数学」にも対応。
 - ◆小学生の参加可。◆難関私立高校受験対応。

S（小・中学生）コース 英語

- Ｓコース英語要項（教材にプログレス使用！）
 - 開催日●日曜日 17:30～18:50（初級）
19:00～20:20（中級）
20:30～21:50（上級）
 - 会場●F C S 藤崎本館（早良区役所正面）
- 主宰者からのメッセージ「Ｓコースの英語とは」
大学入試改革に即応した英語講座の決定版
 - Ｓ英語はプログレスに精通した先生に登壇頂いています。久留米附設中学、福岡雙葉中学の英語進度も理解し、四半世紀近いキャリアを誇る先生が指導します。
 - 一流海外大学留学指導にも通じ、文部科学省が目指す、グローバル英語（聞く、読む、話す、書くの４技能統合型言語活動）が身につく最新英語講座です。
- 中高ギャップの解消、BOOK３＝センターレベルだから久留米附設１位（中２）、西南学院１位（中２）！
 - 久留米大附設の生徒が圧倒的な合格実績を誇る秘密は？入試問題を見て頂ければ一目瞭然です。公立高校、市内の私立高校は限られた単語でしか問題は作られてませんが、附設は大学入試センター並の語彙、英語のスキルを求めています。本講座はプログレスを教材に使う事で、中学英語の枠にとらわれず、経済界が求める英語力を中学生に身につけさせる講座です。

Jコース 国語

- Ｊコース国語要項
- ◆『生徒それぞれの“個”を尊重し、客観的且つ論理的に文を分析する力を育てる』
 - 授業は生徒さん各自のペースを大事にしつつ、必要に応じて、タイミングを見計らいながら解説を施すという形で進められます。
 - 長文指導の目標は、自分のフィーリングに頼らず、根拠に基づいて解答できるよう、客観的に文章を読むことができる力を養成することです。記載された一語一語を大事にして、自分の思いを勝手に入れず、論理的に分析する能力を育てていきたいと思っています。
 - 教室の雰囲気は大変穏やかです。学校で解からなかったことも含め、気軽に質問・相談できる空気を作っています。
 - 国語の問題に対する解釈は、確かに人さまざまかもしれませんが、解答が解答であるための根拠は必ずあるものです。その根拠をどのように探したらいいのかということも含め、時には討論になることもあります。答を答として押し付けても力は向上しません。生徒の意見は意見として一旦は受け入れ、その後、自分の解答が本線から脱落していることを、気付いてもらえるような指導を目指して努力しています。

- 会場●F C S 藤崎本館
- 日時●毎週水曜日 20:10～
- ※センター入試対策も可能です（能力に秀た中学生は申し出てください）。

Jコース 理科

- Ｊコース理科要項
- 毎週土曜日18:20～●F C S 藤崎本館
- 授業計画案（１年間で中学理科全体像を講義演習する内容になっているのが特長です）
 - ▶３・４月は物理分野
 - ▶５・６月は化学分野
 - ▶７・８月は演習（夏期講習的に）
 - ▶９・10月は生物分野
 - ▶11月は地学分野
 - ▶12・１・2月は入試問題を解いていきます
- 7、8月は夏期講習期間とし、化学→物理→地学→生物の順にこれまでの復習や応用問題の演習、新分野への導入を行います。
- 要項
 - 本コースは過去８年分の公立（福岡県）入試問題（＋適宜附設入試問題）をベースにテーマ毎に授業、演習を行います。
 - 各月テーマを決めて、最初に授業（講話）→演習を進めます。

- 公立入試８年分の問題を単元毎に分解。単元毎の講話→書き取り→授業後にノートまとめ。次回授業前半に前回の講話の完全記述試験（生徒が単元を記述表現できるようにする）→講評。後日、入試問題を解かせます。
- 普通の塾では最後のサイクルだけをやっていて、スキルの高い先生であればそこで理科の現象やしくみの説明ができます（楽しい授業）。
- この講座ではそのスキル（講話）部分を前面に出し、生徒にまとめさせる、という福岡では類の見られない講座です（数学のような計算練習が伴う物理、化学分野はまとめて留まらず錬成をさせます）。

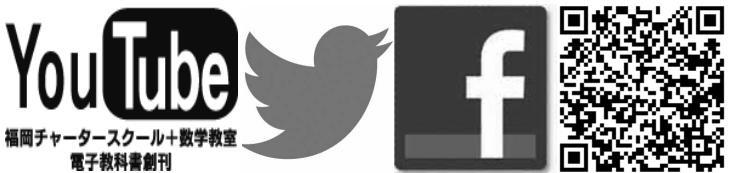
- そして、１年間、しっかり受講すれば、中学理科がすべて身につくようにカリキュラムを組みました。
- ところで、久留米附設入試問題をゴールに理科をゼロから教える事が出来る（語れる）先生、授業は少ないはずです（教材の答え合わせと多少の説明だけ。説明を誤摩化さないのは一部の自称最高峰クラスで見られるくらい）。
- それは、比較的平易な問題を出題する福岡県公立入試理科、福岡都市圏にある私立高入試理科攻略には「そこまで必要ない」からだと思われます。
- 毎回ではありませんが、F BにＪコース理科の板書を掲げています。ご覧頂けるとＪ理科の授業は一切の妥協をしていない事が視認頂けるかと思います。
- 中学時代理科が高得点で公立最高峰の高校に合格しても「中高の理科ギャップ」のため私大文転してしまうケースは少なくありません。お子様が私文転してしまわないようしっかり大学に繋がる理科を教えたいと思います。

- 尚、高校受験がない中学生はＲコース物理、化学を履修する事をお勧めします（中学受験の理科の入試問題と公立高校入試のそれを見比べて下さい。全く同じか、それ以上の内容である事にお気づきになられるでしょう。灘中学校、久留米附設中学校では理科～化学は「モル」で習うのです）。

Jコース 社会

- Ｊコース社会要項
- 毎週水曜日19:00～
- 内容や進度は生徒に合わせて変えるので一律には進みません。ご相談ください。
- 主宰者推薦図書／岩波新書／日本の歴史〈上〉〈中〉井上清著（１年後、読める子を創りたいです）
- F C S 藤崎本館（早良区役所正面）
- 自ら情報を発信する全く新しい社会の授業
 - 「成功する人としない人、その違いは何でしょう」
 - 人生において成功する人は共通してあるものを持っています。それは「発信すること」です。
 - 自分の計画、思いを上手く発信することはこれから先とても重要視されます。
 - そこでF C S 中学社会の講座では学習したことを作文用紙にまとめる事を月に１度行います（ほぼ単元毎）。
- 「答練」意識した「プロ生徒育成」
 - 地理、歴史、公民すべてにおいて社会は普通の塾ではひたすら覚えることが多いです。
 - 確かに覚えることは、受験において人生においても大切なことではありますが、より効率的に楽にこなすチカラも大事です。
 - 理解をし「なるほど！」と知識の点と点を結ぶことができれば、楽にたくさんのことを覚えることができます。
 - F C Sでは、生徒自らが理解をし、人に社会を語ることのできるような授業を目指します。もちろん、暗記は欠かせないものであるため、記憶を定着させるにはインプットしたものをアウトプットすることが重要です。よって、覚えたことは問題を解くことでアウトプットしましょう。
- なぜ？に興味を持つ子、理由を追い求める子を募集
 - 先日、中部地方の地理の授業をしました。

- 子ども達は山陽地方山陰地方の２区分に分けて呼ぶものの他に、四国地方を合わせて気候区分として山陰地方、瀬戸内地方、南四国地方の３区分に分けて呼称するものがごっちゃになって混乱していました。
- まとめる事への経験値がある子なら、それぞれの気候区分、風向や地形を重ねて考え、そして名前の漢字を照らし合わせる事で、暗記する以前に自ずと頭に入ってきますが、まだ、素養が育まれていない子だと、いくら勉強しても情報をまとめる事ができません（そのまま成人し、自分の考えを文字に起こす事ができない大人になって行くのです。勿論、点数も取れません）。
- 地理でたとえるなら、地形発生の理由、名前の由来などに興味を持つような「地理」「歴史」「公民」で理由を追い求める子の参加を歓迎します。



高校数学講座

数ⅠA予習コース・数ⅡB予習コース・数学演習コース
開催日●木・土（予習）日朝・月・火・土（演習）
会場●FCS藤崎本館・ももちパレス（土曜予習）
内容●予習コースでは高校で使われている教材を使い、高校の授業の予習の説明→演習を繰り返して行きます。

数ⅠA予習コースは高校1年生・中高一貫中学3年生、数ⅡB予習コースは高校2年生・中高一貫高校1年生が対象となりますが、個人差、学校の進度差により柔軟に対応致します。

既に一通り数学が終わった生徒や演習を積み増したい生徒は演習コースで数学の考究を続けます。

途中で入会する子、転塾してきた子は、体験を通して、そのいずれかの教室に入っていく事になります。

「塾・予備校」では「革命」

予備校や大手学習塾は一つの授業ラインしかなく生徒がそのラインに乗る事を強要します(生徒が授業に合わせる)。

FCSはラインが複数あります。複数あると言う事は、先生、教室の数がその分必要となり、回らなくなるのでは（塾が私立中対象としたくない本当の理由）との疑問を保護者、全国の塾・学校関係者からよく尋ねられます。

学校の復習をメインにやればラインは複数必要です。しかし「予習」指導ができれば収斂します。

ただ、学校で習った事を前提で教える「塾・予備校」界ではこれは「革命」です。技量のない先生がこれを行うと生徒は激減し、どんなに看板が大きくともクラスは消滅します。

FCSは処理能力の高い先生と100万再生回数を誇る授業動画を駆使することで授業を「あなた」に合わせることを可能にする画期的高校数学講座なのです。

高校化学講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）
会場●FCS藤崎本館
内容●大学入試における化学は細かい単元がたくさんありますが、大きく分けて理論・無機・有機の3つに分けられます。この内無機・有機はどうしても覚える内容が多く、覚えれば覚えるだけ得点力に直結するような分野です。

一方理論化学は化学全般の土台となる分野で、理解がとても大切です。実際、出題の比率も高く、センター試験の半分以上は理論化学分野から出題されています。理論化学さえしっかり押さえておけば、後は暗記量に比例して点数は伸びていくため、まずは理論化学をしっかり身につけていくことが大事です。

もちろん理論化学を特に手厚くケアしていくことを考えています。

授業は説明や整理を行った後で、問題演習を行う形式をとります。問題を解く時に理論をどのように活用するかが大切なので、ただ解くだけでなく「何を問われているのか」「どのように問題文を整理して知識と結びつけるか」などの解答の根拠などを示し、幅広い問題に対応出来る力を付けます。無機・有機については、表で整理したり、まとめて覚えると覚えやすいものなどを示した上で、とにかく反復して知識の定着を図ります。

物理と同様、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で跟いた生徒、今後化学が必要になるため予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は理論化学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

高校英語講座

開催日●月1回の英語講座・原則第一日曜日12:00～
会場●FCS藤崎本館

内容●忙しい高校生のために毎週ではなく月1回、前月一ヶ月分の英字新聞から好きな記事を選び（だいたい見出しか写真で決める）各自読む→わからなかったら英語に精通した講師がホワイトボードで解説。みんなで共有する。全く新しい画期的な英語講座！対象は高校生ですが、英語に自信がある小・中学生、英字新聞を読む必要がある大学生、海外の視点を知りたい社会人も参加できます！

主宰者より●高校英語はなかなか続きません。8コマ以上学校で授業を受けて、部活。そして、ポロポロの体で塾に来て長文を読む、しかも英語。寝てしまったり、休んだり。でも、1回休むと前の話が解らずまた休む。

かなりの目的意識、特に予習をしてこなければ、授業は全くの無駄に終わる。これは福岡の大手学習塾高等部、予備校現役コース、どこでも抱えている問題です。

FCSでは四技能英語にあたる中学英語の授業を3年間しっかり続けられ、英字新聞、CNNのCD教材もついていける英語力が身につく内容なので敢えて無理に高校英語のコースを作りませんでした。ただ、比較的暇な高1の春休み、文法中心の高校英語入門コースは開催してきました。

今年の春は例年と趣向を変えて、地頭塾（塾に入る前の年齢の子を賢くする塾、最近情熱大陸で取り上げられた宝槻先生が運営する探求学舎みたいな塾）の山本先生を招聘して、英字新聞を通して英語力を上げる入門講座を開催しました。そして好評だったとのことでした。

そこで、一ヶ月分の新聞を準備して、月に一回、同じことをやってみてはどうか、それなら、続くんじやないか（半端は無駄）と思い、この講座を考案した次第です。

8月は8/4（日）12:00～です（HP告知）

高校物理講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）
会場●FCS藤崎本館
内容●物理大学入試における物理の分野には力学・電磁気・波動・熱・原子があります。

中でも力学と電磁気の2分野は必ずこの大学でも出題されており、この2分野をしっかり身に付けることは重要です。さらに言えば、物理の初めに習う力学は、数学における式と計算のようなもので、物理全体の基礎となる部分であり、もっとも重要な分野です。

“物理が嫌い”というほとんどの人はこの力学でつまづいています。

物理の問題は当然ながら、公式や物理法則を適用しなければ解けません。しかし、公式はただ暗記しても、現象を正しく理解していなければ、それを適用することすらできません。

そこで授業は始めに説明を行い、理解をしてもらった上で、その理解を助け、覚えるべき事を「使える」形で覚えるために、最適な問題で演習を行う形式をとります。

理解した現象を問題へと結びつけていく方法を示しながら、実際に行う問題演習ではそれぞれの生徒に助言を与えつつも自力で解かせる時間をとります。

また、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で跟いた生徒、今後物理が必要になるため予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は力学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

- 東京大学
2年連続
現役合格実績
- 九州大学 23年連続
現役合格実績

※前身の数学教室時代の
実績を含む

- 合同入塾相談会
- ・8/25（日）12:00～
- ・FCS藤崎本館
藤崎駅3番出口正面
ドコモショップ横

学年がない画期的な理数専門塾

検索

福岡チャータースクール

お電話でのお問い合わせは 092-845-9981